

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	H29上下水道局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	H29維持管理課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2760
	基本事業	安全で良質な水の供給		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計)鉛管解消対策事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	国からの鉛製給水管の使用禁止の通知や、鉛に関する水質基準の改正、強化を受け、鉛製給水管の早期解消を図るため、鉛管が多く残存している区域での取替工事や道路舗装打換え工事などの機会を捉えて鉛管の取替を推進するほか、鉛管引替工事助成金交付制度を拡充するとともに、鉛管の使用状況をお知らせする戸別通知や、広報紙などを通して制度の利用啓発を図っている				
	30年度概要	鉛管引替助成事業 (1,200件) 舗装打換えに伴う鉛管取替工事 (500件) その他事業に伴う鉛管取替工事			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理		

【事業の目的】

対象(何を)	鉛製給水管を使用している世帯
意図(どのような状態にしたいか)	安全で良質な水の供給

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
単年度鉛製給水管取替工事件数	件		3,129	3,291	4,000	4,000

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
鉛給水管残存率	%	目標値		69.2	65.8	59	59
		実績値		69.8	67		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 各種公共工事に合わせて鉛製給水管引替工事を実施するとともに、鉛管引替工事助成金交付制度について周知し、その活用を啓発することなどにより、鉛製給水管の取替件数の合計は3,287件となり、前年度の3,129件と同水準を維持した。	(目標達成度)						(達成度) 98.2% 34点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	364,023	382,592	411,669	466,115
(事業費)	[円]	299,119	318,576	347,957	402,099
(職員人件費)	[円]	64,904	64,016	63,712	64,016

【評価】

評価ランク (A~D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>継続</b>
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

公共工事の際に行う鉛管取替工事は減少しているものの、平成27年度に鉛管引替工事助成金交付制度の拡充を実施するとともに、27年度から29年度までに順次実施してきた戸別通知の結果、従前に比べ助成制度利用による鉛管取替工事が大幅に増加しており、全体の鉛管取替件数は3,287件となり、前年度3,129件と同水準を維持した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

水道水の安全性と信頼性の向上を図るため、戸別通知をはじめ、広報紙への掲載、局ホームページの充実等、幅広い情報提供を行うとともに、配水管布設替工事、下水道工事、県道・市道等の道路舗装工事など、あらゆる工事機会を捉えた鉛管取替工事を実施することにより、目標4千件の達成と事業の積極的な推進を図っていく。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	H29上下水道局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	H29水質管理センター
	施策	水の安定供給		電話番号	087-847-4869
	基本事業	安全で良質な水の供給		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計)水質管理体制充実事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	水道法に基づく給水栓水等の水質基準適合検査や取水水源調査、浄水場処理工程の検査など水の流れ全般において水質検査を実施することで、安全で良質な水道水を安定的に供給できるよう水質管理を実施している。その水質検査を正確かつ精度よく実施することで、検査結果の信頼性確保と検査技術の向上を図るため、水道GLPを平成21年2月に認定取得し、29年2月に2回目の更新をした。また、本市環境指導課の公共用水域および事業場排水の検査を受託することで、本市水質検査機関の連携等を図っている。		
30年度概要	水道法で水道水質基準、水質管理目標設定項目、要検討項目に設定されている項目の中で、自己検査できる項目の比率を高め検査体制の充実を図る。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


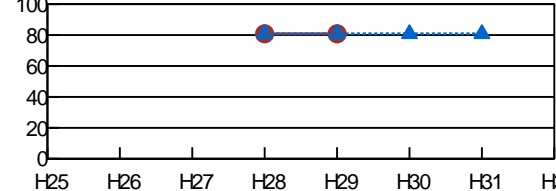
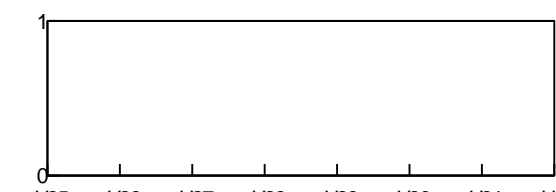
【事業の目的】

対象(何を)	水質検査項目
意図(どのような状態にしたいか)	検査結果の信頼性確保と検査技術の向上のため、水道法で示された水質検査項目のうち、自己検査ができる項目数を増やして検査体制の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
総水質検査検体数	検体		34,964	36,933	25,277	40,633

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	水質自己検査項目率	%	目標値		80.8	80.8	80.8	100
			実績値		80.8	80.8		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 水質管理目標設定項目で農薬類の120項目のうち37項目については検査方法の確立や機器の整備が必要であり、実施できなかった。 							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	128,168	139,651	128,111	159,262
(事業費)	[円]	55,151	67,633	56,435	87,244
(職員人件費)	[円]	73,017	72,018	71,676	72,018

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

検査機器の整備を通じて、自己検査項目を増やすための検査方法や分析条件について検討を行ってきた。
---

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

水質検査機器を整備することにより自己検査できる水質検査項目の比率が上がり、より充実した水質管理が可能となる。また、水道GLPの運用による水質検査の精度管理や水安全計画の推進により、安全な水の供給を確実にするシステムを構築する。
---

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	H29上下水道局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	H29浄水課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2751
	基本事業	安全で良質な水の供給		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計) 県営水道用水受水事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

**事業の概要**  
香川県水道局が経営している香川県水道用水供給事業から浄水を受水し、自己水源と併せ、市民に給水する。現在の総配水量に占める県水受水比率は60%近くある。香川県水道用水供給事業は香川用水から取水しているが、水源である早明浦ダムが近年頻繁化しており、取水制限が繰り返されていることから、自己水源との比率を50%を目標とし、年々受水量を減らしていく計画である。

**30年度概要**  
香川県水道用水供給事業からの浄水受水  
基本水量 26,517,334 m<sup>3</sup>  
使用水量 26,517,334 m<sup>3</sup>

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------

【事業の目的】

対象(何を)	市民
意図(どのような状態にしたいか)	御殿、浅野、川添浄水場で処理する自己処理水だけでは、高松市の全体の給水量が賚えないため、香川県水道用水供給事業から浄水を受水し、市民へ給水する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
県水受水日数	日		365	365	365	365

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
安定給水日数		日	目標値		365	365	365	365
			実績値		365	365		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	水道水の安定給水のため香川県水道用水供給事業から浄水を受水し、自己処理水と併せて市民へ給水する。 (目標達成度)							(達成度) 100.0%
								35点
県水受水比率		%	目標値		55.4	54.7	54.7	54.7
			実績値		55	55.2		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	香川県水道用水供給事業の水源である早明浦ダムの濁水が近年頻繁化しているため、自己処理水との比率を50%とし、年々受水量を減らしている。 (目標達成度)							(達成度) 100.9%
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	2,026,520	2,022,310	2,050,834	1,855,192
(事業費)	[円]	1,976,619	1,970,297	1,999,068	1,803,179
(職員人件費)	[円]	49,901	52,013	51,766	52,013

【評価】

評価ランク (A~D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>継続</b>
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)  
自己処理水だけでは高松市全体の給水量は賚えないことから、水道水の安定給水のため県営水道からの受水は継続する。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)  
県営水道は契約水量に基づき受水しているが、コストの安い自己水を増やし、県水は減らしていく努力をする。